

しのばず自然観察会より 2024-5 2024.05.04

2024年5月の活動 不忍池 定点観察 5月19日(日)



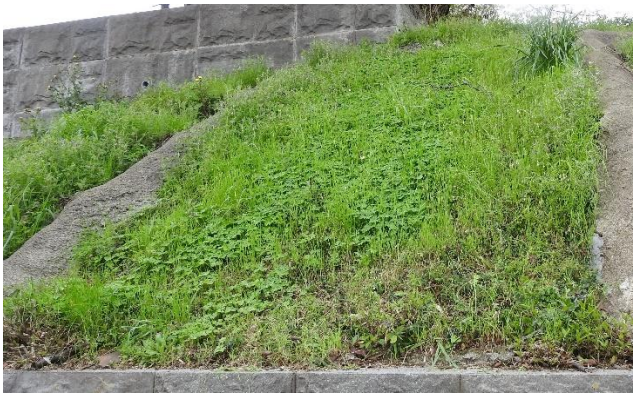
集合：午前10時 不忍池 蓮池南西端
緑の小旗あり（野外ステージ西側、湯島天神下交差点寄り）

今回は雨天中止

持物：筆記用具、双眼鏡、飲み物、雨具
(マスク、敷物、昼食、防寒衣)

解散は午後1時頃ボート池畔または藤棚
参加費不要 非会員の参加も歓迎

2024年 4月の臨時活動 谷中霊園ニリンソウ観察会より



区画の左2/3ほどがニリンソウ(下半分ほどが草刈り済範囲)

4月6日(土)、上野公園上空には花見取材のヘリコプターが旋回していました。空模様に気を揉んだものの花曇りのもと、昼頃には暖くなった谷中霊園にも、花見客が繰り出していました。ニリンソウの花見を想定して組んだ臨時観察会には11名が参加しました。ただ、3月に寒い日があったためか、ニリンソウの花はようやく咲き始めの段階でした。2か所ある群落の一つをまず見ました。ここではコバンソウは侵入し始めて、10m²ほどの面積に数えてみるとニリンソウの蕾か花があるシュート(花茎)が45本ありました。次にコバンソウ侵入地の群落ですが、15m²ほどの面積のうち1/3位にもともとニラが生え、残りの面積がニリンソウでした。3月15日にしのばず自然観察会会員が霊園管理所所員の立ち合いのもとで、ニリンソウ生育範囲の1/4程度を柄付鋏で草刈りをしましたが、刈り残した茎葉が6日には伸びていました。

とはいえ、草刈り範囲ではニリンソウの葉が展開し、一部に蕾も見られました。でもここでは先に見た群落ほどには蕾や花が目立たないので、昨年コバンソウに覆われて日光を奪われたためニリンソウの貯えが少なかったことをうかがわせます。対策としては、ニリンソウが葉を展開する前の1~2月にコバンソウを抜き取るのが効果的です。なお、20日にニリンソウの開花状態を見に行き、コバンソウの花穂をとって皮をむいてみたところ、まだ実は熟していませんでした。コバンソウ侵入時にはニリンソウの葉が展開する3月と4月に結実前のコバンソウを刈り取るのも有効だろうと感じました。

不忍池定点観察 2024年4月21日(日)より

夕方から雨の予報でしたが、日中は薄日も漏れて、穏やかな陽気のもと7名が参加しました。枯蓮が刈られた後の水面に、サギ類が目立ちました。ボートもたくさん繰り出し、乗船待ちの人が列を作っていました。この日は各池の水位が高いのが目につきました。大雨が降ったわけではないのですが、ボート池と蓮池の堰は越えていませんでしたが、水位差は小さく、蓮池と動物園池の差も小さく、弁天堂後ろでは堰を越えて蓮池から動物園池へ水が移動していました。

渡り鳥のカモ類は見られませんでした。ユリカモメは数が減りましたが、頭が黒い夏羽の個体がめだちました。植物ではあいかかわらず外来種の花盛りでした。コゴメイヌノフグリは少なくなりましたが白い花を咲かせていました。水面に蓮の赤味を帯びた浮葉が出て来て、開き始めました。巻いていた葉が開いて行く様がよくわかります。

確認した鳥:カルガモ、カワセミ、ハクセキレイ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、ゴイサギ、カイツブリ、バン、ユリカモメ、ウミネコ、ムクドリ、ヒヨドリ、シジュウカラ、ドバト、スズメ、ハシブトガラス(坂部嗣雄)

その他の動物:アゲハ、アオスジアゲハ、クロアゲハ、モンシロチョウ、キタキチョウ、クロイトトンボ、コイ、アカミミガメ

開花・結実:カヤ、オオイヌノフグリ、コゴメイヌノフグリ、雑種タンポポ、ノゲシ、ノボロギク、カタバミ、カタ

バミの仲間(紅色花で丸味のある葉と、紅色花で普通のカタバミ葉の2種類)、ユウゲシヨウ、ナガミヒナゲシ、チガヤ、イヌガラシ、白花のアブラナ科植物、黄花のアブラナ科植物、ソバ、キュウリグサ、スズメノカタビラ、フジ、カラスノエンドウ、アメリカフウロ、ウラジロチチコグサ、ハハコグサ、ハルジオン、ヘラオオバコ、ナヅナ、オオジシバリ、イネ科不明種、イヌムギ?



クロイトトンボ

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔方

1975年創立 電話03-3828-8775 URL: <http://sinobazu.extrem.ne.jp>

郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円 ほかに行事参加費

2023年以前の会費未納の方もお忘れなく! 退会の場合は早めに葉書で事務局へ

4月21日の観察会から 小川千恵子

9:12 池に向かうと、ヒヨドリのけたたましい声とカルガモの鳴き声が聞こえる。続いてユリカモメの鳴き声。

池の中の鉢の向こうから南へカルガモが泳ぐ。

浮き橋に向かうが池縁の草地にはオオイヌノフグリ、花が白いコゴメイヌノフグリ、ヘビイチゴ、ハルジオン、背の高い多数のペンペン草(ナツナ)が咲く。スズメノカタビラも多い。

浮き橋床にドバトが16羽、ペタリと座ったり、立っていたり。手すりに2羽。

ひっくり返したボートの上にはカワウ2羽。1羽は背を南に向けて、翼を広げている。ウミネコ3羽とユリカモメ。

池の水が多い。

ハンノキの下に大きい葉だけのギシギシ。綿毛になったタンポポ。オレンジ色のナガミヒナゲシ一輪。菜の花が1株、カラスノエンドウ。

黄色い粒々の花と、白い綿毛がついた植物。何?(ノボロギク)。

手すり寄りに葉がハート型で白い花が一株。何?(あとで、「ソバ」と教わる)。隣にピンクの小さい花、アメリカフウロ、ヘラオオバコが咲いている。スギナがいっぱい。ピンクの花、ヒルゲショウだっけ?と思ったが、名はユウゲショウ。そう言えば昨年Hさんがユウゲショウという名前なのに昼間から咲いていると言ったのを思い出す。

鳥モニュメントの南、薄黄色の花は?あとで「チガヤ」と。ツーピーツーピー、シジュウカラの声。

八重桜、花は終わり頃で、花びらが地面に広がる。葉が多い。池の中の鉢に黄色いアイリス?

タチアオイは丈が100cmを越えている。弁天堂の方から太鼓の大きな音が鳴り響く。曲がり角辺りの黄色い花は何?カラスノエンドウが多数咲く。

集合地から

カンナは多数の枯れ葉の下に濃い緑の葉が30cm位に伸びている。菊の葉はそのまま。タチアオイの大きな葉も育っている。濃いピンク色の花の大きな葉のカタバミ。紫色のジャーマンアイリス?去年見たスノーフレイクは見られない。

目前の地面にムクドリ達。枯蓮の中にダイサギ1羽。

音楽堂方向に向かう。すぐ南の植え込みに、赤紫の垂れた花びら、立ち上がりは薄い赤紫色のジャーマンアイリスと、濃い紫の大ぶりのジャーマンアイリスが数株。

スズメノカタビラ(見つけるといつもせんこう花火みたいと思う)

蓮池の水が多い。音楽堂の所では水は流れ込んでいないが、コイが多数。手すりに沿ってコイを見ながら歩く私たちの動きに合わせて群れのまま、泳いで来る。「餌はあげられないのよー」の声。

ミミナグサ(耳菜草)。本を見ると、やわらかい小さな葉をネズミの耳に例えた2年草。

手すり下にノゲシ、ナヅナ、ユウゲシヨウ、カジノキの葉、タチヌノフグリ。

コサギ2羽、アオサギ1羽が枯蓮の中に見える。

カワセミが、通り過ぎて来た道から池に伸びた木の枝先に止まる。なかなか見つけられない。

浮き橋の手前の手すりの下一帯は背の高いスギナ。以前アシやガマがあった所に薄茶色の大きな塊りが浮かんでいる。筏の残がい？ひっくり返ってる？細い葉のアシが何本も立つ。アシはこの浮き物の上に復活する？水面に枯れたハスの実が多数ひっくり返って浮いている。

浮き橋北は水面が広がっているが、枯れたハスの丈が、水の量が多いせいかもしれない。いつもより短く見える。

ダイサギ2羽、コサギ3羽が枯蓮の中や手前の水面をヒョイヒョイと歩く。沈まない程身体が軽いのか？池の下に枯蓮が敷き詰められているのか、脚が埋まるわけでもなく軽々と歩く。

さっと嘴を水中にいれるが、餌はなかなかつかまらない。

陽差しが出てきたのに雨粒が落ち、すぐやむ。

頭の白いユリカモメに混じって、頭の黒いユリカモメは、眼の周りの白、嘴と足の赤が目立つ。「仮面をかぶっているみたい」とHaさん。

黄色い粒のような花のイヌガラシ、水色の花のキューリグサ。

地べたで、まかれた餌を食べるドバトの群れの中に1羽、頭の黒いユリカモメがゆったりと歩く。「貴婦人みたい」とTeさん。

公衆トイレで非常事態を知らせるヒューヒューという音と入口の赤いランプが点滅。中に困っている人はいないかと様子を見る。しばらくすると音は止み点滅も消える。多目的トイレの開閉は無く、心配だったのでノックをして開けようとするが開かない。また少しすると男性が行き、開けようとするが開かない。また少しすると中から男性が出てきた。皆がホッとして歩き出す。こういう場合はどうしたら良いのだろうか？非常ブザーは、どこかにつながって、誰かが対応しているのだろうか？

池の水際に水面の方に飛び出している1m位の木。アキニレ、と。

3本のカワズザクラは、小さな赤いサクランボが付いている。

薄ピンク色のアメリカフウロ。シジミチョウが飛ぶ。ヘラオオバコ、ヒメオドリコソウ、ギンギシの仲間。

参道入口手前の大きな濃いピンク色のカタバミは、まだ咲いている。

参道北の動物園池。枯蓮の中へアオサギが飛んでくる。その隣にもう1羽。

参道の小さい藤は紫色の房が下がる。

大藤棚は真中辺りに少し下がる。シャガ、ナガミヒナゲシが咲く。ジュズダマの茶色の枯れた葉の中に緑の葉が20cm~30cmに伸びている。前回、人為的に枯らされた？と書いたがどうやら誤りで、緑の新しい葉が伸びる前に自然に枯れたよう。集合地そばのカンナもそうだった。

バンが泳ぐ。ハクセキレイが鳴きながら飛ぶ。

ユッカは花は無し。穂のような花芽の茎のような物が2本伸びている。

ひと休み。

アシは新しく茎が伸びている。茶色の枯れたアシの茎についている葉は既に落ち、ピワコカ
タカイガラモドキは捜せない。先月の物を見てもらう。

カヤ、池際から水面に見える木に白い花はカジイチゴ、と。キタキチョウ、ハクセキレイ。

参道を出て橋を渡る。橋の下は蓮池から動物園池に水が流れている。

ボート池北

薄紫っぽい白い綿毛のチガヤ。水色の花のニワゼキショウ。

ウコン桜。花の色が薄緑からオレンジ色に変わるといって、ちょうど両方が見られた。

12:20 また弁天堂の中から太鼓の大きな音が鳴り響く。今日は何があったのかな？

デッキでボート池を見ながらの昼食時、池には4羽のウミネコ。途中から参加した Sa さんが、ウミネコは4羽いたと言ったのを思い出す。

谷中墓地（4月6日）の観察会から 小川千恵子

谷中墓地の南西にある三崎坂を上がっていく。

谷中小学校のソメイヨシノは満開。

谷中墓地のメインストリートの桜並木も満開。

どういうわけか、桜の木の下、間はギッシリと白っぽい花のシャガが植えられている。何の為にシャガが？ Ta さんはシャガは土留めに使うと言った。

二輪草

階段を降りる途中の右側にかたまって咲いている。一帯には言い難い。下に降りて土手の北西端の二輪草は咲いている花は数が少ない。

一面を覆っているのはコバンソウだけではなくカラスノエンドウ、ノビル、ヒメオドリコソウが埋めつくす。

下の墓地の北西端にスノーフレークが咲く。

二輪草を見たあと、徳川慶喜、渋沢栄一の墓にも行すが、途中で、白い花が咲くシキミ、モチノキを覚えてもらう。

渋沢栄一の墓は以前は広大な敷地がしっかりとした塀で囲まれ、木がうっそうとしていたが、今は塀は無く、木は数本(1本タブあり)、手前はベンチを置き、花壇が作られ、公園化してしまった。

家を出る前にスマレが見られるかなあ？と話をしていたが、解散地の五重塔跡地西側の砂場そばのソメイヨシノの下に、タチツボスマレとコスミレ！タネはアリか運ぶと覚えてもらう。

驚いたことには、今日参加の Ku さんは子どもの頃五重塔の現物を見たと言う。焼ける煙も遠くで見たと言う。